

相談支援機能強化員会議報告

＜概要＞

市内 9 ヶ所に設置している熊本市障がい者相談支援センター間の各区にまたがる情報共有や市全体としての対応の整合性を図る場として、各センターに 1 名ずつ配置している相談支援機能強化員が集まる会議を開催している。

＜会議開催＞

原則毎月第 3 金曜日（2 時間程度）

＜30 年度の会議内容＞

開催月	内容
8 月	第 5 回（8/29） ① 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況について ② 委託ケースの対応 ③ 虐待ケースの対応について
9 月	第 6 回（9/21） ① 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況について ② 委託ケースの対応 ③ 養護者による障がい者虐待への対応フロー図について ④ 特定事業所加算の算定について
10 月	第 7 回（10/15） ① 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況について ② 委託ケースの対応 ③ 地域からの要望における会議等への対応について
11 月	第 8 回（11/16） ① 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況について ② 委託ケースの対応 ③ 相談支援部会との合同研修会について ④ セルフプランのモデルケースについての検討

<現在の課題>

- ・計画相談支援の対応について

相談支援専門員一人当たりの抱える計画相談支援件数が多いことから、新規の障害福祉サービス支給申請者の計画相談支援の受け入れ先がなかなか見つからない状況となっている。

相談支援従事者初任者研修の修了者は、毎年、一定程度、養成しているが、実際に実務に従事される方が少ない現状であり、今後はさらに、そうした研修修了者をどのようにして、実際の従事につなげていくか、ということも課題である。また、セルフプランも活用も視野に入れ、検討を進めていくこともやむを得ない時期に来ている。

各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況

H30年度	中央区	東区	西区	南区	北区
9月	<p>■運営会議（27日） 第3回ネットワーク会議内容確認、準備 ＜参加者＞ 中央区福祉課、チャレンジ、ウィズ ＜内容＞ ・案内先の検討、案内文、発送日の確認 ・研修内容確認 ・当日の準備</p>		<p>■第2回ネットワーク会議（14日） ＜参加者＞ 21名 区福祉課、保健子ども課、さいせい 特定事業所（7事業所8名） 桜ヶ丘病院、城山病院 ＜内容＞ 地域の精神障害者への関わりについて ・保健子ども課より業務内容・事例紹介 ・桜ヶ丘病院及び城山病院の概要・事例紹介（困難ケースで他機関と連携したケース） ・グループワーク</p>		<p>第3回ネットワーク会議（5日） ＜参加者＞ 15名（PSW実習生1名） 区福祉課・保健子ども課・アシスト・なでしこ 特定事業所4ヶ所 ＜内容＞ ・北区児相発達支援・放課後デイサービス 事業所訪問アンケート調査の報告（各事業所より） ◎北区放課後デイサービス・児童発達支援 事業所情報集約完成（データにて情報共有）</p>
10月				<p>■運営会議（17日） 第3回開催内容の検討。 ＜参加者＞ じょうなん、絆 南区役所福祉課、保健子ども課</p>	<p>■運営会議（10日） 第5回開催内容の検討 ＜参加者＞ なでしこ・アシスト 区福祉課・保健子ども課</p>
11月	<p>■運営会議（6日） 第3回ネットワーク会議最終確認、準備 ■第3回ネットワーク会議（8日） ＜参加者＞ 30名 中央区内の特定相談支援事業所（6カ所） 居宅介護事業所 8事業所 中央区福祉課・保健子ども課 障がい保健福祉課、ウィズ、チャレンジ、 ＜内容＞ 目的：居宅介護事業所と相談支援事業所の 情報交換と連携体制の構築を図る ①講話 精神障がい者の特性と関わりのポイント 桜ヶ丘病院 大島高昭室長 ②グループワーク 自己紹介、感想、フリートーク</p>	<p>■第4回ネットワーク会議（8日） ＜参加者＞ 20名 東区内特定相談支援事業所、 委託12事業所（18名） 東区福祉課、保健子ども課 ＜内容＞ ①地域ささえあいセンターより ・東区相談先一覧（ささえあい、障がい者 相談支援センター）の配布 ・仮設住宅の供与期間延長について ・みなし仮設交流会のお知らせ ②ストレスケアについて（60分） 講師：熊本市こころの健康センター ③支援ケース検討会（グループスーパー ビジョンの実施） ・ケース提供：熊本県社会福祉事業団 相談支援事業所 ・ファシリテーター：きらり</p>	<p>■第3回会議打ち合わせ（11月中旬） センター内で次回会議内容の打ち合わせ。 ＜内容＞ ・西区委託業務内容の報告 ・保護課・社協等の関係機関の概要と相 談支援との連携。 ※福祉課・保健子ども課との打ち合わせを 12月上旬に開催予定。 ※次回のネットワーク会議を1月25日開催。</p>	<p>■第3回ネットワーク会議（22日） ＜参加者＞ 39名 区福祉課・保健子ども課、じょうなん、絆 南区特定相談支援事業所、精神科病院 障がい児通所支援事業所 ＜内容＞ ①保健子ども課児童支援班の取り組みに ついて 講師：南区福祉課 ②自立援助ホームの取り組みについて シェアハウス夢ポート施設長 戸高洋子氏 ③グループワーク ④質疑 ⑤その他、連絡事項等</p>	<p>■第5回ネットワーク会議（14日） ＜参加者＞ 19名 区福祉課・保健子ども課・なでしこ・アシスト 北区特定相談支援事業所 8ヶ所 ＜内容＞ ・自立支援協議会各部会報告 ・相談支援事業所こころ（事例提供） ・介護保険サービス移行時のより良い連携 について事例を通し、情報提供の方法や流 れについて共有。 ・福祉課より介護保険へ移行の際のポイン ト（フローチャートを使って） ・グループワーク 介護保険への移行の際の難しさや・連携 について意見交換 ・オブザーバーとしてささえエリア植木・福祉 課高齢担当の保健師参加 ・第6回の会議の内容についてのアンケート</p>
12月		<p>■運営会議予定 ＜内容＞ 第5回ネットワーク会議参加依頼先、方法 の検討</p>			<p>■運営会議予定（17日） ＜内容＞ 第6回ネットワーク会議の内容について</p>
年間目標	<p>・相談支援事業所の情報共有、連携 （ネットワーク会議参加） ・医療機関と相談支援事業所との連携 ・ヘルパー事業所との交流</p>	<p>・定期的なグループスーパービジョンを実施し 地域課題を整理していく。 ・相談支援事業所以外のメンバーとの意見交 換の場を広げていく。 ・相談支援専門員同士の悩みを出し合える機 会を取り入れながらストレスの軽減を図って いく。</p>	<p>・事例などを通して、各機関の役割を改めて認 識する事で、連携を図りやすくする。</p>	<p>・平成30年度から参加者に保健子ども課を新 たに加え、互いに情報共有の場を持つことで、 互いに連携が取れやすいよう企画を検討す る。</p>	<p>・区役所福祉課、保健子ども課と連携を図りな がら、運営会議を充実させ、テーマに応じサビ 管や居宅介護支援事業所などとの連携強化を 図っていく。 ・管内の社会資源の情報集約を行い、より質 の高いサービスの情報提供を行える体制整備 を図っていく。</p>

各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況

H30年度		中央区	東区	西区	南区	北区
年間 予定 (随 時 更 新)	4月					運営会議
	5月	第1回 ネットワーク会議	第1回 ネットワーク会議	運営会議	運営会議	第1回ネットワーク会議
	6月			第1回 ネットワーク会議	第1回ネットワーク会議 ※保健師も参加	
	7月		第2回 ネットワーク会議			運営会議
	8月	第2回 ネットワーク会議	運営会議	運営会議	運営会議	第2回ネットワーク会議
	9月		第3回 ネットワーク会議	第2回 ネットワーク会議	第2回ネットワーク会議 ※サビ管との連携	第3回ネットワーク会議 (児童発達支援事業所へのアンケート調査の集約について)
	10月		運営会議		運営会議	運営会議
	11月	第3回 ネットワーク会議	第4回 ネットワーク会議		第3回ネットワーク会議 ※講師を招いての座学を予定。	第3回ネットワーク会議(事例検討)
	12月		運営会議	運営会議		
	1月		第5回ネットワーク会議	第3回 ネットワーク会議	運営会議	運営会議
	2月	第4回 ネットワーク会議	運営会議		第4回ネットワーク会議 ※事例検討(児童)	第4回ネットワーク会議(サビ管との意見交換会)
	3月		第6回ネットワーク会議		運営会議(今年度反省及び次年度計画)	